

区連会 資料 4-1

旭区社協発第 512 号
令和 6 年 2 月 19 日

各自治会町内会長 様
広報ご担当者 様

社会福祉法人
横浜市旭区社会福祉協議会
会長 渡邊 多喜男

広報紙「あさひいきいき宣言 (No. 115)」の配布について (ご依頼)

時下 ますますご清祥のこととお喜び申しあげます。

日頃より、本会事業にご理解とご協力を賜り厚くお礼申しあげます。

さて、このたび本会広報紙「あさひいきいき宣言(旭区社協だより)」115号を発行しましたので送付いたします。

つきましては、ご多忙のところ恐縮ではございますが広報よこはま旭区版(3月号)とともに地区内全世帯へ配布していただきますよう、お願い申しあげます。

今後も地域のみなさまに“いきいき”としていただけるような広報紙を目指し、発行していきますので、ご支援とご協力を賜りますようお願い申しあげます。

◆送付部数 広報よこはま旭区版(3月号)と同部数

担当：千葉・梅崎

電話：392-1123

FAX：392-0222

旭区社協だより No. 115

あさひ 共に支えられ 生きていく

いきいき宣言

<https://www.palletasahi.jp/>



この広報紙は、「赤い羽根」共同募金の配分金で発行しています。

旭区社協 | Q

旭区福祉保健活動拠点 ぱれっと旭のご案内

(以下、ぱれっと旭)

「ぱれっと旭」は、ボランティア団体や当事者団体、地域住民等の自主的な活動のためにご利用いただける施設です。会議や研修会、活動の場として様々な用途に合わせた諸室や設備を用意しています。今回はぱれっと旭を利用し、活動する2つの団体をご紹介します。



電話傾聴ボランティア 旭ふれあいコール

問合せ先:070-6982-1200(代表:酒井)
(月・水・木の9:30~12:00)

「旭ふれあいコール」は、「誰かと話したい」「悩みを聞いてほしい」という方からのご相談を電話でじっくりと聴くボランティア活動団体です。設立24年目を迎え、9名のボランティアが週3回の午前中に活動しています。ご相談のお電話や、一緒に活動する仲間を募集しています。

「聴いてもらえて元気が出た」等の言葉をいただく、励みになります!(点字製作室)



NPO法人ニッポン・アクティブライフ・クラブ ナルク NALC横浜 (以下NALC横浜)

問合せ先:045-719-5001

「NALC横浜」は、福祉施設でのボランティア活動や会員同士の助け合い、交流事業を行う団体です。コロナ禍から徐々に活動を再開する中、車椅子研修を開催しました。ぱれっと旭利用団体である福祉体験支援グループ「旭かけはし」の協力のもと19名の会員が車椅子体験を行いました。利用者と介助者の両方の立場を学び、今後の活動につながる内容となりました。新規会員募集中です!



久しぶりの車椅子講座で基本を学び直すことができました!(多目的研修室)

ぱれっと旭の利用について

~利用できる団体~

- 福祉・保健活動を行うボランティア団体
- 障害等の当事者団体等

~開館時間~

月曜~土曜の9時~21時、日曜・祝日の9時~17時
(年末年始を除く)

詳細についてはホームページをご確認ください。▶



令和6年度 あさひふれあい助成金等の案内について

旭区内で活動するボランティアグループ・市民活動団体、障害者等当事者団体などに活動費の助成を行います。詳細は、本会HPでご案内いたしますのでご確認ください。申請書類は令和6年3月中旬より、本会の窓口にて配布、及びHPに掲載します。

【あさひふれあい助成金 受付期間】 令和6年4月1日(月)~4月30日(火)

※期限を過ぎた場合は受付ができません。お早目にご相談ください。

令和6年能登半島地震災害義援金の受付について

令和6年1月1日に発生した「令和6年能登半島地震」によって、被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。本会では、災害義援金を受け付けております。皆様の温かいご協力をお願いいたします。

善意銀行にご寄付いただいた方々

ありがとうございます。 (順不同・敬称略)
令和5年10月~12月

(金品寄付) 佐々 徳雄/荻窪 邦昭/都岡町内会チャリティもちつき大会/伊志嶺 朝之/希望が丘 竹の会/伊藤 志壽江/匿名 5件

(物品寄付) ハッ橋 政彦/西山 勉/神奈川県理容生活衛生同業組合旭支部/成田 清四/一般社団法人 大和青年会議所/一般財団法人 ポケモン・ウィズ・ユー財団/万騎が原地区社会福祉協議会/匿名 3件

善意銀行とは、皆様からの善意の寄付金品をお預かりし、必要なところ、または希望された区内福祉施設や当事者団体、地域福祉活動団体などへ配分し、皆様の善意を広げていく事業のことです。

発行 社会福祉法人 横浜市旭区社会福祉協議会

〒241-0022 横浜市旭区鶴ヶ峰1-6-35
TEL:045-392-1123 FAX:045-392-0222
<https://www.palletasahi.jp/>

●アクセス●
相鉄線「鶴ヶ峰駅」
北口より徒歩8分



地域活動は仲間と一緒に楽しく活動したい、地域に貢献したい、困りごとを抱える人を助けたいなど、様々な想いが重なり合い取り組まれています。そのような想いは直接活動に携わることで実現しやすくなりますが、直接は難しくても「何か力になれないか」「利用しない物を役立てたい」「間接的にでも力になりたい」という想いをカタチに変えて実現できる活動もあります。今号では、旭区内で取り組まれている活動を寄付というカタチに変えて想いを届けている個人や団体、企業をご紹介します。

主任児童委員連絡会と旭区社会福祉協議会が12月9日に「ひとり親家庭応援Day」を開催しました。参加者からは「ありがとうメッセージボード」が寄せられました。「気持ちが明るくなり来て良かった」「物価高の中、助かりました」など沢山の「ありがとう」をいただきました



旭区社協の X(旧Twitter) やってます!
<http://twitter.com/asasha1123>



アカウント名は 横浜市旭区社会福祉協議会
旭区社協では令和3年10月1日よりX(旧Twitter)を開始しました。各職員が身近な話題や福祉に関する情報などをつぶやいていますので、ぜひフォローしてください!



笹野台地区

くらし応援会を通して…

「誰かのために」という住民一人ひとりの想いを集めて取り組まれている「くらし応援会～ともに手をたずさえて～」が、笹野台地区で年に1回実施されています。

今年も令和5年11月29日の開催にあわせて、事前に食料品等の寄付への協力を呼びかけ、住民の皆さんや近隣のお米屋さん、地域の福祉施設から「くらし応援会で使ってほしい」とたくさんの食料品や寄付金等が寄せられました。

さらに、地域の助け合い活動を応援したいという想いから、各地区で行われる頒布会に寄付物品を届けている万騎が原地区社協からも協力がありました。

寄せられた食料品や寄付金等には「誰かのために

できることをしたい」、「お互い様で助け合いたい」、「お世話になった恩返しをしたい」と想いがたくさん込められていました。協力を呼びかけた笹野台地区社協でも「こうやって持ち寄ってくれる皆さんの気持ちが嬉しい。応援会当日のお手伝い以外にも寄付という形で様々な人に関わってもらい、住民同士の助け合いやつながりづくりをさらに深めたい」と話します。



くらし応援会に寄せられた寄付物品



区内の他地区でも、住民の想いを「寄付」というカタチに変えて、つながりや支えあいを広めるために様々な取組が行われています。その一部の取組と寄付者の声をご紹介します。

希望が丘東地区



「くらし応援会と相談会」実施にあたり、地区内にある3つの小・中学校のフードドライブ※1活動に協力を仰ぎ、頒布する食料品や日用品を提供いただきました。

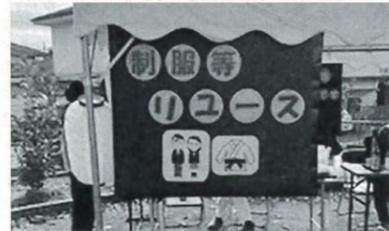
中尾小児童の声

「使っていない食品が意外とたくさんあるので驚きました。フードドライブで無駄にならず使えてよかったです。」

「私たちの活動が無駄を減らすうえ、人の役にも立って嬉しいです。」

※1 家庭で使い切れない未使用食品を持ち寄り、フードバンク団体等へ寄付する活動

万騎が原地区



万騎が原地区社協では、中学校の制服やジャージ等を地域の方から寄付を受け、必要な方に無料で提供しています。

寄付者の声

「子ども3人分の制服や靴、体操着など、捨てるには忍びなく、この日を待っていました！ぜひ使ってほしいと思い、持ってきました。」



希望が丘南地区



「ふくし祭り」にて資源循環局旭事務所後援のもと、フードドライブを実施しました。たくさんの方に数多くの食料品をご寄付いただきました。寄付物品は旭区社協の食料支援活動に活用されました。

寄付者の声

「日頃いろんな方にお世話になって生活しています。自分にも何かできることはないかなと考えていたところフードドライブがあると知り、ささやかながら協力させていただきました。フードロスの防止と地域貢献ができ、ありがとうございました。」

ユーコープ スタディドライブを通して…

生活協同組合ユーコープ(以下、ユーコープ)では、「スタディドライブ※1」に取り組んでいます。

この取り組みを旭・保土ヶ谷・瀬谷区で進めるユーコープ横浜中1エリア会では、以前地域のフードパントリー※2を見学した際、食料品以外にも日用品や文房具も必要とされていることに気づき、「地域で集めた物を地域で活かしたい」という思いから、ユーコープの3店舗で集めた文具や日用品を「ひとり親家庭応援Day」にお渡しすると決めたそうです。

ユーコープの皆さんからのコメント

ひとり親家庭応援Dayでは、沢山のありがとうございますが集まる場になりました！



高齢者の方からは「買い物のときに寄付ができ協力しやすい」といった声や、「お店まで行けませんが、送料を負担しても寄付したい」という声が寄せられたそうです。

ユーコープでは、文房具を受け取った方の笑顔を寄付者に伝え、今後も想いを募っていきたくと話していました。

※1 家庭で眠っている文房具を必要とする子どもたちに届ける取組
※2 さまざまな理由で食に困っている方が、無償で食の支援が受けられる活動(場所)



たくさんの想いをのせた「寄付」をありがとうございます。

12月に実施した「ひとり親家庭応援Day」でも、過去に寄付を受けた方が、今回は自分も役に立ちたいと食料品や日用品を持参されました。また、参加されたお子さんが「フードドライブ」に興味を持ち、仕組みを調べて伝えていきたいと主任児童委員にインタビューを行う場面がありました。まさに、寄付をされた方の想いが伝わり、新たな取組や活動につながっていると感じました。

旭区社会福祉協議会では、今後も区民の皆さんの想いをカタチに変えて実現できる活動を住民や企業、施設などの方たちと取り組み、つながりや支えあえる地域づくりを進めていきます。

Check!



フードドライブ実施情報

旭区内では、常時4カ所で受付をしています。是非、ご協力ください。

- 旭区役所2階地域振興課21番窓口
- 資源循環局旭事務所
- イトーヨーカドー若葉台店
- 無印良品 ジョイナステラス二俣川